

方式で運営を図ることとしており、その法人については、JAが主体となるか、第三セクター方式を取り入れるか、現在県の関係機関等の指導を受けながら慎重に協議検討を重ねているところです。

圃場については、昨年営農地を対象に数カ所の土壌分析調査を実施し、茶の栽培には適地であるとの回答を得ており、地理的条件も備えていることから、約1・5メートル程度の深耕整地を行い、排水に考慮した地質改善を図る計画です。今後も、関係機関、団体と慎重に協議を進め、茶業の生産体制の確立を行い、事業実施に向けて取り組んでいきたいと考えています。

## 地域福祉活動

**問** 地区社会福祉協議会への支援について

**答** 地区社会福祉協議会は、会員の地域福祉活動の拠点として位置づけられており、各地域内で生きがいを持って健康で安心して暮らせるまちづくりができる

よう自主的な運営により、住民が進んで福祉活動ができるようにつくり上げた組織です。本所となる大洲市社会福祉協議会は、地区内の福祉問題に取り組む地区社協に対し活動に必要な情報提供、地区社協同士の連絡調整及び財政的な援助を行っています。

地区社協の主な財源としては、社協会費、共同募金配分金、大洲市ボランティア福祉基金事業配分金、まごころ銀行指定配分金及び浄財等で、これらの財源により、地区内における住民の自発的で自主的な活動、問題の発見や提起、福祉活動への参加促進と啓発、サロン事業などの交流促進を図っていただいております。このため、行政として地区社協への直接的な支援は行っていませんが、大洲市社会福祉協議会に対し、これらの経費と合わせて運営費を助成しているところです。

## 食育と学校給食

**問** 地元農水産品の学校給食への取り組みについて

**答** 大洲市食育推進計画では地産地消の推進のため、大洲の伝統的な食文化を継承した献立を取り入れ、特色ある農水産物の普及、安心・安全の食の提供に努めることとしています。地域で生産された安全で季節感のある食材で日本の食文化を伝えられる豊かな給食内容にすることは、食育の推進や地産地消の観点からも大変重要ですので、地産地消拠点施設などの流通機能を有効に活用し、生産者情報の共有化、組織化を図りながら、地元農水産品の取り込み拡大に努めていきたいと考えています。



毎日楽しみの学校給食  
(南久米小学校)

## 治水対策

**問** 山鳥坂ダムの洪水調節効果について

**答** 一般的にダムの洪水調節効果は、対象とする洪水の雨の量や降り方、洪水調節の容量、その他、調節方式等により異なりますが、肱川水系河川整備計画の大洲地点における目標流量毎秒5,000トンの昭和47年9月型洪水に対して、山鳥坂ダムの洪水調節効果は毎秒約400トンと聞いており、今後必要な整備流量である毎秒1,450トンの約30%を占めます。また、山鳥坂ダムの流域面積が少ないのに治水効果が大きい理由としては、山鳥坂ダム流域は肱川流域でも降水量が多いところであること、山鳥坂ダムの洪水調節容量は降った雨の大部分をためることができ、効果の高い洪水調節が行えることなどと同っています。



山鳥坂ダム建設予定地付近

**問** 鹿野川ダムの改造(トンネル洪水吐き)について

**答** 鹿野川ダム改造事業は、河川整備計画中期(平成31年頃)までの完成を目指して進められており、改造の内容については、洪水調節容量を増やし、洪水対応能力を向上させるとともに、新たに河川環境容量を確保して、下流に水が少ないときにダムに貯留した水を放流することになっています。洪水調節に必要な容量については、最大毎秒約1,000トンの放流が可能なたんネル洪水吐きを新設することになっており、現在、基本構造の検討が進められ、今年度より詳細設計を行うほか、選択取水設備、利水放流管については予備